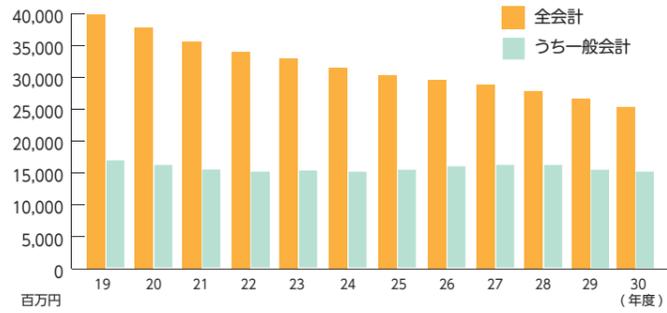


市債・債務負担行為の推移



平成30年度末 現在高一覧

項目	元金	利子	合計
<b>一般会計</b>	149億 8,567万円	5億 966万円	154億 9,534万円
地方債	149億 2,773万円	5億 899万円	154億 3,672万円
債務負担行為	5,795万円	67万円	5,862万円
公共下水道事業	43億 756万円	3億 6,317万円	46億 7,073万円
工業用地造成事業	17億 9,007万円	4,768万円	18億 3,775万円
水道事業	27億 2,589万円	3億 4,493万円	30億 7,082万円
<b>合計</b>	238億 920万円	12億 6,544万円	250億 7,464万円

<b>実質赤字比率</b> <small>一般会計に赤字がどの程度あるかを表します</small> <b>該当なし</b>	<b>連結実績赤字比率</b> <small>一般会計と特別会計・公営企業会計のすべての会計の赤字がどれくらいあるかを表します</small> <b>該当なし</b>
<b>実質公債費比率</b> (25%以上は財政が危ない) <small>市の財政運営に影響するすべての会計の借入金の返済に充てた経費がどれくらいあるかを表します</small> <small>昨年度より0.7%下がり改善</small> <b>7.6%</b>	<b>将来負担比率</b> (350%以上は財政が危ない) <small>市の財政運営に影響するすべての会計の借入金の返済、退職手当など将来に負担が見込まれる経費がどれくらいあるかを表します</small> <small>昨年度より19.1%下がり改善</small> <b>58.3%</b>

財政判断4つの指標  
— 全て基準値を下回る —

**本宮市の借金は？** — 計画を遵守し償還 —

左上図は、合併以降の平成19年度からの借金(市債・債務負担行為の元利計)の推移を表したものです。

平成19年度に策定した本宮市自主的財政健全化計画に基づき、計画的な市債の発行と債務の償還により、平成19年度には399億円あった借金が、平成30年度には148億2536万円減少し、250億7464万円となりました。今後も計画を遵守し、適正な市債の発行、償還を行ってまいります。

※地方交付税の代替措置である臨時財政対策債が、一般会計の市債のうち約4割を占めています。

【平成30年度末残高】	
市債残高	231億7,827万円
債務負担行為残高	18億9,637万円
<b>250億7,464万円</b> (前年度262億1,252万円)	

**豊かな心と創造性あふれる人材育成のまちづくり**

公民館整備事業	3億 1,490万円
第3保育所整備事業	2億 1,633万円
本宮方部学校給食センター設備改修事業	5,616万円
国際交流事業	1,551万円

**共に支えあう やさしいまちづくり**

児童手当支給事業	5億 2,627万円
子ども医療費助成事業	1億 6,238万円
放課後児童健全育成事業	5,686万円
英国庭園 PR 事業	916万円
子育て世代包括支援事業	881万円
子育て支援推進事業	822万円

**安全・安心な環境のまちづくり**

本宮駅周辺東西アクセス整備事業	5億 6,478万円
橋りょう維持事業	9,218万円
もとみや定住促進事業	5,005万円
まちづくり道路整備事業	4,437万円
追付頭・表矢沢線整備事業	4,097万円
地域公共交通運行支援事業	4,021万円

## 平成30年度の主な事業

**東日本大震災・原子力災害からの復旧・復興へ向けて**

住宅除染事業	29億 2,670万円
農地等除染事業	17億 1,597万円
東日本大震災対策事業	3億 6,708万円
道路側溝堆積物撤去・処理支援事業	9,513万円

**市民と行政の協働による自立したまちづくり**

行政区支援事業	3,405万円
地域情報化格差解消事業	2,259万円
広報もとみや発行事業	1,087万円
議会広報広聴・会議記録事業	514万円

**活力あるふるさとのまちづくり**

森林保全事業	7,513万円
商工業経営金融支援事業	6,848万円
県営ため池等整備事業	3,262万円
観光関係団体運営支援事業	2,632万円
米づくりパワーアップ支援事業	2,064万円
商工業振興団体支援事業	1,826万円

## 平成30年度決算報告

# 健全な財政運営を行いました

歳入総額	歳出総額
210億 5,308万円	191億 6,792万円
国・県支出金 68億 1,847万円 (32.3%)	歳入歳出差引額 18億 8,516万円
市税 46億 3,599万円 (22.0%)	衛生費 38億 8,565万円 (20.3%)
繰入金・繰越金など 40億 7,778万円 (19.4%)	民生費 37億 7,307万円 (19.7%)
地方交付税 33億 5,493万円 (15.9%)	土木費 23億 8,640万円 (12.4%)
市債 12億 7,760万円 (6.1%)	農林水産業費 22億 858万円 (11.5%)
地方譲与税など 8億 8,831万円 (4.3%)	総務費 21億 651万円 (11.0%)
	教育費 18億 9,536万円 (9.9%)
	公債費 14億 3,620万円 (7.5%)
	議会費・労働費・ 商工費・消防費 14億 7,615万円 (7.7%)

本宮市の平成30年度各会計の決算がまとまりました。皆さんから納めていただいた税金がどのように使われたのかをお知らせします。☎ 総務部 財政課 ☎ 24-5305

**一般会計** — 6億1868万円の黒字決算 —

平成30年度一般会計の決算額は、歳入総額が210億5308万円、歳出総額が191億6792万円で、歳入から歳出を差引いた収支は18億8516万円の黒字となりました。ここから令和元年度へ繰り越した事業の財源12億6648万円を差し引いた実質収支額は、6億1868万円となり、黒字決算となっております。

予算の執行に当たっては、本宮市自主的財政健全化計画を遵守し、限られた財源の重点的・効率的な配分を行い、健全な財政運営に努めてきました。

費目	費目の内容	1人当たりの金額
衛生費	ごみ処理や生活環境を守るための経費(住宅除染含む)	12万 7,721円
民生費	高齢者福祉、保育所運営、生活保護費など福祉のための経費	12万 4,020円
土木費	道路橋りょう、公園整備のための経費	7万 8,441円
農林水産業費	農業振興、林業振興などのための経費	7万 2,596円
総務費	一般管理費、徴税費、選挙費など市政を進めるために必要な一般的な経費	6万 9,241円
教育費	学校教育・社会教育のための経費	6万 2,300円
公債費	市が借りているお金の返済のための経費	4万 7,208円
その他(商工費・消防費など)	商工、観光振興や消防団運営、防災対策などのための経費	4万 8,521円

市民1人当たりに換算すると?  
**1人当たりに使われたお金 63万47円**

※一般会計の歳出総額をH31.3.31現在の住民基本台帳の人口(30,423人)で除して算出しました



**基金残高** — 災害や特定の事業などに向けた積立 —

基金名	平成30年度末残高
財政調整基金	15億 2,879万円
教育施設等整備事業基金	5億 7,105万円
地域福祉基金	3億 3,900万円
長期避難者生活拠点形成基金	2億 9,244万円
本宮駅東西自由通路等整備基金	2億 7,951万円
市営住宅等管理基金	2億 825万円
減債基金	1億 2,700万円
震災・原子力災害復興基金	5,700万円
五百川駅前広場等整備基金	5,002万円
その他特定目的基金	8,352万円
合計	35億 3,658万円



経常的な収支	
収入	9億 8,954万円
支出	8億 6,270万円
投資的な収支	
収入	1億 9,003万円
支出	8億 4,099万円

## 特別会計

## 企業会計

(水道事業)の決算

— 全ての会計で黒字決算 —